

① 自然と調和した便利で快適なまちづくり

(1) 自然と調和した都市空間の創造

■前期基本計画の主な取組と成果

計画的な都市づくりの推進

- 都市計画の指針となる都市計画マスタープランの中間見直しを進めるとともに、町のシンボルとなる質の高い住宅地の形成を誘導し、粕屋らしい住まいの場として緑とにぎわいが共存する暮らしの拠点となる酒殿駅南地区や、環境や景観に配慮した良好な生産環境の形成を目標に江辻山地区で地区計画を策定し、都市と自然が調和したまちづくりを進めました。

秩序ある土地利用の形成

- 農地法や農業委員会等に関する法律に基づき、農地の保全に努めるとともに、農地パトロールなどを行い、不適箇所には指導を行いました。
- 九州大学農場跡地（予定）で阿恵官衙遺跡が発掘されたことに伴い、福岡都市圏の広域道路ネットワークとなる福岡東環状線について、遺跡の保存方法も含め県土整備事務所をはじめ関係機関や地域と協議調整を行いました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 自然と都市環境の調和を維持する計画的な土地利用

- 自然と調和した魅力ある都市空間を確保していくため、市街化区域内の農地や低・未利用地の活用とともに、都市的土地利用のポテンシャルが高い地域では、防災や環境、景観のほか、地域農業に及ぼす影響に十分配慮し、人口や都市機能の量的な拡大が、まちの質的な充実にもつながる計画的なまちづくりを推進する必要があります。
- ぼた山については、開発及び財産管理を適正に行うとともに、自然活用型開発などのさまざまな視点から今後の方向性の検討が必要です。

課題2 九州大学農場跡地（予定）のまちづくりへの有効活用の検討

- 九州大学農場跡地（予定）では、阿恵官衙遺跡を活用した遺跡公園を整備し、幅広い世代にとって利便性が高い市街地を形成するとともに、活力ある社会経済活動の場として新たな雇用を創出する、地域と調和した魅力ある計画的なまちづくりが必要です。



基本施策

自然と都市のバランスのとれた、快適で魅力的な生活環境を確保するため、計画的なまちづくりを推進します。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	自然と調和したまちづくりが行われていると思う町民の割合	47.3%	
客観指標	地区計画などの策定地区累積件数	6件	8件

基本施策の取組方針

- ◎都市計画マスタープランに沿った、秩序ある土地利用の促進・維持を図るとともに、町の中心拠点においては、まちの顔にふさわしいにぎわいと個性のある場所への再生をめざし、土地の高度利用を誘導するように土地利用規制のあり方を検討します。
- ◎ぼた山については、適正な管理を引き続き行うとともに、今後の開発の方向性を関係自治体と連携し検討します。
- ◎農地パトロールなどにより農地の適正管理のため必要な指導や助言を行い、農地の保全を推進します。
- ◎九州大学農場跡地（予定）の活用については、交通の要衝となるメリットを活かし、公共公益施設・商業・業務・住宅など複合的な要素をあわせ持つ魅力ある市街地を形成し、新たな雇用の場の創出をめざします。
- ◎国の史跡指定となった阿恵官衙遺跡は貴重な歴史資源であり、町の魅力を発信できる緑の拠点として、九州大学農場跡地（予定）と一体的な活用を図ります。

関連する計画

第3次粕屋町国土利用計画、粕屋町都市計画マスタープラン
粕屋町農業振興地域整備計画

SDGsからみた行動目標

11 住み続けられるまちづくりを

●町の暮らしを支えていくため、それぞれの特性を活かした計画的な土地利用を推進します。

15 陸の豊かさを守ろう

●適正な土地利用の誘導により、自然と調和した良好な生活環境を形成します。

序論

基本計画

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

資料編

① 自然と調和した便利で快適なまちづくり

(2) 緑と水辺に囲まれた潤いある暮らしの創造

■前期基本計画の主な取組と成果

景観形成のための規制、誘導

- 屋外広告物許可制度に基づく規制、違反広告物の撤去を実施しました。はり紙、立看板などの違反広告物の撤去により、良好な景観の維持ができ、自然災害による広告物の飛散による事故防止、抑止にもつながりました。
- 新たなまちづくりを進めた地区では、周辺環境と調和するため地区計画の制度を活用し、緑化の推進や建物の色彩など景観への配慮を図りました。

やすらぎと魅力ある公園づくり

- 安全・安心に公園が利用できるよう、遊具や園路・外灯などの施設の点検を行うとともに、計画的に修繕や補修を実施しました。また、定期的に樹木の剪定や消毒を行い、景観の保全とともに快適な環境づくりに努めました。
- 駕与丁公園でバラまつりを開催し、町花であるバラの普及啓発を行いました。また、駕与丁公園のさらなる魅力向上を目的として、民間事業者による活用の可能性を検討するためのアンケート調査を実施しました。

緑化の推進

- 緑豊かなまちづくりのため、福岡魁誠高等学校と連携して町内に花苗を配布し、町民と行政の協働による緑化推進を行いました。新たなまちづくりが進められた酒殿地区、戸原地区などでは、緑のスペースとして公園整備が図られました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 駕与丁公園をはじめとした魅力ある公園づくり

- 駕与丁公園は、豊かな自然と共生する町の魅力を象徴するランドマークであり、町内外にその魅力を発信し、幅広い人が集まる場として、さらなる魅力向上とにぎわいづくりが求められています。また、憩いと交流の場として安全・安心に利用できるよう、公園施設の維持管理が必要です。

課題2 町民と行政との協働による緑化推進と景観保全

- 町内の緑化推進と良好な景観の維持のため、適切な管理を行うとともに、町民や事業者、行政の協働により、地域ぐるみで緑化推進と景観保全に努めることが必要です。



基本施策

町のシンボルである駕与丁公園をはじめ、豊かな緑や水辺環境を保全し、町民が憩い、交流できる環境づくりを進めます。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	憩いや交流のために公園が活用されていると思う町民の割合	59.6%	
客観指標	駕与丁公園の延べ利用団体数	400団体/年	440団体/年

基本施策の取組方針

- 重点** 町のシンボルである駕与丁公園は、魅力の中心となる緑の拠点として、町民や町外の来訪者に幅広く親んでもらうため、バラ園の充実や継続的なイベントの実施、民間事業者の活用（カフェ・レストラン・売店など）の可能性を検討しながら、さらなる魅力向上に取り組みます。
- ◎安全・安心に公園が利用できるよう、遊具などの施設の点検、修繕、改築を行うとともに、公園管理への住民・事業者の参加を促進します。
 - ◎公園・緑地などは、災害時の避難場所として重要な役割があるため、ユニバーサルデザインにも配慮された防災機能の強化に努めます。
 - ◎緑豊かな潤いある景観を維持するため、適切な維持管理を行うとともに、町民と行政が協働で緑化を推進します。
 - ◎良好な景観の維持のため、屋外広告物許可制度に基づく規制、違反広告物の撤去とともに、設置者へ許可制度の周知を図ります。

関連する計画

粕屋町都市計画マスタープラン、粕屋町個性ある地域づくり基本計画
粕屋町サイン計画、粕屋町緑の基本計画

SDGsからみた行動目標

11 住み続けられるまちづくりを

- 駕与丁公園をはじめ、町民の憩いとふれあいの場となる公園環境を整備します。

15 陸の豊かさを守ろう

- 町の自然景観を維持するため、緑化活動を推進します。

② 安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり

(1) 安全で快適な道路ネットワークの充実

■前期基本計画の主な取組と成果

安全で快適な道路ネットワークの整備

- 安全で快適な道路ネットワーク構築のため、都市間幹線道路となる福岡東環状線、筑紫野古賀線、粕屋久山線の建設にあたり、福岡県とともに円滑な事業推進に努めました。
- 近年、大型車の交通量の増加に伴い、道路舗装の劣化が著しいため、道路パトロールによる危険箇所の維持補修や路面性状調査などによる舗装個別施設計画を策定し、道路(舗装)改良工事を実施しました。
- 道路橋梁の定期点検を実施し、長寿命化計画に沿って補修工事を実施しました。

安全・安心な道路施設の整備

- 通学路点検や行政区要望に基づき、ガードレールなどの交通安全施設の整備を実施しました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 安全で快適な道路ネットワークの整備と計画的な維持管理

- 道路は、町民の暮らしや産業振興における重要な都市基盤であり、災害時には復旧を迅速に行う緊急輸送道路の役割を果たします。道路の安全性の確保や利便性の向上を図るため、計画的に都市間幹線道路、地域間幹線道路の整備を図り、良好な交通環境をつくる必要があります。
- 長寿命化計画に沿って、道路や橋梁の改良工事を実施するとともに、予防保全の観点から早期に補修工事を実施するなど、計画的な維持管理が必要です。

課題2 安全・安心に通行できる道路施設の整備

- 交通量の多い本町において、子どもや高齢者が安全に通行できる歩行路に対する町民のニーズは高くなっています。通学路に関して、関係機関と連携し点検を行い、交通安全施設の老朽化している箇所など、危険箇所を解消することが求められています。



橋梁保守工事



基本施策

安全で快適な道路ネットワークの構築による利便性の向上と、歩道を含めた安全・安心な道路環境の整備を進めます。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	道路が円滑に通行できると思う町民の割合	32.9%	
客観指標	歩道設置道路の総延長	45,325m	47,000m



基本施策の取組方針

- ◎生活道路における通過交通の減少と交通渋滞の緩和をめざし、周辺都市と連絡する都市間幹線道路網を形成する福岡東環状線などの整備を促進します。
- ◎道路の安全性を確保するため、道路橋梁の定期点検を実施し、長寿命化計画に沿って補修工事を推進します。
- ◎舗装個別施設計画に沿って老朽化した道路舗装を整備し、計画的な道路の維持管理を推進します。
- ◎道路パトロール、通学路点検、行政区要望などにより、道路の危険個所を把握し道路環境の整備を推進します。

関連する計画

粕屋町都市計画マスタープラン、粕屋町高齢者福祉計画
粕屋町通学路交通安全プログラム

SDGsからみた行動目標

- | | |
|---|--|
| <div data-bbox="212 1612 726 1720">  <p>産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●道路・橋梁の長寿化による都市インフラの強靱化を進めます。 |
| <div data-bbox="212 1736 726 1841">  <p>住み続けられるまちづくりを</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●暮らしを支える安全で利便性の高い道路ネットワークを整備します。 |

② 安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり

(2) 安全で快適な生活を支える交通環境の創造

■前期基本計画の主な取組と成果

人と環境にやさしい交通環境の充実

- 公共交通拠点となるJR駅では、駐輪場の照明のLED化を進め、利用者の安全性の確保を図りました。JR柚須駅では、高齢者や障がい者などが安全快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー化を行いました。
- 交通結節点としての機能を高めるため、駅利用者が増加する柚須駅では、環境負荷が少ない自転車の利用と鉄道の相互乗り換えをしやすいするため、駐輪場の増設を行い利便性の向上を図りました。

安全で利用しやすい地域公共交通の充実

- 地域公共交通の充実のため、福祉巡回バスの利用動向調査を行い、今後の運行の方向性を検討しました。
- 移動手段を持たない交通弱者が安心して生活できるよう、公共交通空白地域の発生を防ぎ、地域公共交通の確保を図るため、路線バスに対し赤字補填を行い、路線維持に努めました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 JR駅の安全性・利便性を確保、にぎわいを生む周辺環境整備

- 町内に6つのJR駅を有する町の恵まれた交通環境をさらに充実させるため、交通事業者などと連携し、鉄道、バスなどの多様な交通サービスが相互に利用しやすい一体的な公共交通体系をめざした、効率的な公共交通のあり方が必要です。
- 町の中心拠点となる長者原駅と新たな街並みが形成される酒殿駅南側では、にぎわいある拠点として、バス・自動車・自転車・歩行者それぞれが使いやすく、相互乗り換えやキスアンドライドなどもしやすい駅前広場などの環境整備が必要です。

課題2 高齢社会に備えた、公共交通手段の利便性の確保

- 将来にわたる安定的な移動手段の確保を図るため、公共交通機関の利用を促進し、公共交通空白地の発生を防ぐことが必要です。
- 高齢者や障がい者、子育て家庭などが公共交通を利用しやすいよう、JR駅、バス停の環境改善が求められています。



基本施策

駅周辺の環境整備をはじめ、利便性の高い交通環境を整備するとともに、誰もが安全で利用しやすい公共交通の充実を図ります。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	公共交通を利用しやすいと思う町民の割合	61.7%	
客観指標	鉄道の延べ利用者数	12,700人/日	14,500人/日

基本施策の取組方針

- 重点** 駅、駅周辺の利便性向上や環境改善に向け、交通事業者など関係機関と協議、検討を進めます。
- 重点** 町の中心拠点となる長者原駅では、駅周辺の基盤づくりとして、巡回バス・自動車・自転車・歩行者それぞれが使いやすく、相互乗り換えやキスアンドライドもしやすい駅前整備を行います。
- 重点** 新たな街並みが形成される酒殿駅南側においては、相互乗り換えがしやすいよう駐輪場の整備や駅前広場にシェルターの設置などを行い、環境整備を図ります。
 - ◎移動手段を持たない交通弱者が安心して生活できるよう、公共交通空白地の発生を防ぐとともに、交通事業者などと連携し将来にわたり安定的な公共交通の確保を図り、利便性の向上を進めます。
- 重点** 福祉巡回バス（ふれあいバス）のさらなる交通体系の充実や利便性の向上を進め、高齢者や障がい者、妊婦や乳幼児連れの方々が気軽に外出できる環境整備を図ります。


関連する計画

粕屋町都市計画マスタープラン

SDGsからみた行動目標



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 公共交通手段の利用を拡大し、町全体のエネルギー消費を縮小します。
- 交通事業者との連携により、利用しやすい交通環境の整備を図ります。
- 事業者・町が連携し、利便性の高い公共交通手段を確保するとともに、町民の利用を促進します。

序
論

基本計画

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

資料編

② 安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり

(3) 安全で安心な水源の確保と水環境の基盤強化

■前期基本計画の主な取組と成果

上水道・下水道経営の基盤強化

- 給水人口の増加に対応できる配水池の新設準備を行うとともに、老朽化した配水管を随時更新し、水道の安定供給に向けた対応を行いました。また、長期的な下水道の管路施設を管理するストックマネジメント計画を策定し、計画に基づき施設の点検を行いました。

浸水対策の推進

- 浸水による被害を軽減させるため、分水路の設置工事を実施するほか、道路パトロールによる道路側溝（排水のために道路に沿って設けた溝）などの閉塞箇所の調査及び堆積物の取り除きを行いました。
- 水害対策資材の確保や行政区への土のうの配布を行いました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 健全な上下水道の経営に基づく、計画的な施設の維持管理

- 安全で安定した水の供給や衛生的な下水道環境を維持するため、計画的な管路や機器の更新、老朽化する水道施設の維持管理が必要です。

課題2 浸水対策による災害時の安全確保

- 道路パトロールによって河川や道路側溝などの現状を把握し、雨天時の行動をマニュアル化するとともに、他の部局と連携しながら浸水対策を進めることが必要です。



粕屋町浄水場



基本施策

安全で安心な生活環境を支える上下水道の基盤を維持するとともに、大規模な風水害に備えた道路側溝及び河川の整備などの浸水対策に取り組めます。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	いつでも安心して水を利用できると 思う町民の割合	78.6%	
客観指標	有収率	95.2%	95.0%

基本施策の取組方針

- ◎水道施設と配水管などの適切な管理・点検により、安定した水道の供給を推進します。
- ◎下水道管の適切な維持管理のため、ストックマネジメント計画に基づいた管理及び点検を推進します。
- ◎豪雨による浸水被害の軽減に向け、道路側溝などの施設の適切な維持管理を進めるとともに、河川の浚せつや災害時に備え、水害対策資材の確保などに取り組めます。

関連する計画

粕屋町多々良川流域関連公共下水道事業計画、粕屋町污水处理構想

SDGsからみた行動目標

- | | |
|--|---|
| <div data-bbox="212 1617 726 1724"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●水道事業・下水道事業の推進により、安全な水と衛生環境を管理します。 |
| <div data-bbox="212 1736 726 1848"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●暮らしを支える上下水道を維持するとともに、災害に備えた浸水対策により安全な生活基盤を整備します。 |
| <div data-bbox="212 1859 726 1971"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●下水道環境を整備し、河川の水質を保全します。 |

③ 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり

(1) 次世代に継承する自然環境の保全

■前期基本計画の主な取組と成果

自然環境の保全と継承

- 自然環境の保全と土砂災害防止のため、福岡県森林環境税に基づく荒廃森林整備事業により保安林などの間伐を実施し、森林の保全に努めました。

生活環境の向上

- 環境美化活動や道路堤防などにおける草刈りの実施により、景観の保持を行いました。
- ペットの飼い主に適正な管理を呼びかけるとともに、狂犬病予防接種などの啓発を行いました。
- 公害の発生源となる事業者などに対して改善指導を行いました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 暮らしを守る森林の環境整備

- 森林の豊かな緑と水源のかん養の役割を維持するため、間伐など森林の適正な保全・管理が必要です。

課題2 生活環境向上のための意識啓発と活動促進

- 町の生活環境を保全するため、町民の環境美化への意識を高め、環境美化作業への参加を促進することが必要です。
- 公害の発生を未然に防止するため、公害の発生個所や事業所などへの監視の強化が必要です。



間伐作業の様子



中学生ボランティア清掃



基本施策

かけがえのない自然環境を次世代に継承するため、良好な生活環境づくりを推進します。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	自然を大切にすることを心がけている町民の割合	83.2%	
客観指標	環境美化活動の延べ参加者数	11,083人/年	12,000人/年

基本施策の取組方針

- ◎森林の保全と土砂災害防止のため、福岡県森林環境税に基づく荒廃森林整備事業により保安林などの間伐を実施し、国の森林環境譲与税に基づく木製品の展示や公共施設の木質化を推進します。
- ◎地域活動団体などによる環境美化活動を支援するとともに、定期巡回による草刈の実施などに取り組みます。
- ◎ペットなどのフン害に関する啓発を行い、環境マナーの向上を図ります。
- ◎公害のない住みよいまちづくりのため、大気汚染、騒音、悪臭などの公害を監視し、発生源となる事業者に改善指導を行うなど、公害の防止に取り組みます。

関連する計画 粕屋町緑の基本計画

SDGsからみた行動目標

- | | |
|---|---|
| <div data-bbox="212 1576 724 1688"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●森林の環境保全、公害防止により、地球温暖化に向けた取組を推進します。 |
| <div data-bbox="212 1704 724 1816"> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●河川汚染が海洋に流出することがないように、公害を防止します。 |
| <div data-bbox="212 1832 724 1944"> <p>15 陸の豊かさを守ろう</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●森林の持つ機能を保全するとともに、まちなみの環境美化を進めます。 |

③ 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり

(2) 環境負荷の少ない循環型社会の創造

■前期基本計画の主な取組と成果

低炭素・循環型社会の形成

- リサイクル置場の新規設置、マイバッグの配布などにより、ごみを減らす3R（スリーアール）活動の実施及び不法投棄防止の啓発活動を行い、ごみの減量化を進めました。
- 食品ロス削減の啓発を行うとともに、生ごみ処理機購入補助金交付要綱を制定するなどの取組を実施しました。
- ごみの適正な処分方法を周知徹底することで、ごみの分別や減量の意識向上を図りました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 持続可能な社会に向けた適正なごみ処理、リサイクル活動の拡大

- 持続可能な社会に向けたSDGsの推進など、地球規模での環境問題への意識が高まる中、循環型社会に向けたさらなる取組が求められています。
- 資源を有効に活用し、環境負荷をかけない社会をつくるため、ごみの減量化やリサイクルのほか、プラスチックごみ削減、食品ロス削減に向けた取組が求められています。



ペットボトル処理の様子



リサイクル置場



基本施策

環境負荷の少ない低炭素・循環型社会をめざし、町民一人ひとりの環境問題への関心を高めるとともに、町民や事業者の自主的な取組を促進します。





目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	リサイクルを心がけている町民の割合	83.6%	
客観指標	一人あたりの可燃ごみ排出量	228kg/年	200kg/年

基本施策の取組方針

- ◎プラスチックごみ削減の取組として、マイバッグを配布し、レジ袋削減及び買い物袋の持参を促進します。
- ◎リサイクル置場の利用促進や食品ロス削減への啓発を行い、ごみ減量化への取組を推進します。
- ◎適切なおごみの分別や減量を進めるため、町民や事業所に対する啓発を行います。
- ◎次期のごみ処理施設稼働に適応した分別や収集体系について検討します。

SDGsからみた行動目標

- | | |
|---|--|
| <div style="background-color: #f96; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●エネルギーの省力化を進め、持続可能な循環型社会をめざします。 |
| <div style="background-color: #f96; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●3Rや食品ロス削減に向けた啓発活動により、ごみの減量化を進めます。 |
| <div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●ごみの減量化を進めることで、地球にやさしい資源循環型社会をつくれます。 |
| <div style="background-color: #1e90ff; padding: 5px;">  <p>14 海の豊かさを守ろう</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックごみなどの減量化を進め、海洋汚染から海を守ります。 |

4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

(1) いのちを守り育む食と農の創造

■前期基本計画の主な取組と成果

農業基盤の整備

- 優良な農地の確保と保全のため、農地治水を推進し、管理農区からの要望に対して工事などの農業施設整備や維持管理を行いました。農業者の認定により、農業の担い手を確保し、後継者の育成を図りました。

農産物生産の促進

- 米の需給調整（需要に応じた生産）を図り、ブロッコリーをはじめとした転換作物の作付を推進しました。

地産地消の推進

- 学校給食や保育所給食での地元農産物の供給に努め、子どもたちが地元の食材への関心を高める機会をつくりました。
- ふれあい農園を管理することで、町民が農業とふれあい、農業に対する理解を深める機会をつくりました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 持続可能な農業基盤づくり

- 町の農地を保全していくため、農業の担い手の確保や農産物の生産性拡大など持続可能な農業の基盤づくりが必要です。

課題2 地域の農業を守り、育てるまちづくり

- 農業を町の財産として守り、育てるため、町民が地元の農業や農産物にふれ、農業に対する関心や理解を深めることが必要です。



給食センター調理の様子



基本施策

持続可能な農業をめざし、農業基盤の整備や担い手の確保に取り組むとともに、地域の農業や食材への関心や理解を深め、地産地消を推進します。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	できるだけ地元で採れた食材を利用している町民の割合	49.6%	
客観指標	学校給食における地場農産物の使用量	12,020kg/年	14,000kg/年

基本施策の取組方針

- ◎優良な農地の確保と保全のため、農地治水などの農業施設の整備や維持管理を推進します。
- ◎農業の担い手の確保及び後継者の育成のため、認定農業者の育成・認定を推進します。
- ◎米の需給調整を進めるとともに、ブロッコリーをはじめとした転換作物の作付を推進します。
- ◎学校給食や保育所給食での地元農産物の供給に努めることにより、子どもたちの地元の食材への関心を高め、地産地消を推進します。
- ◎ふれあい農園を管理することで、町民が農業とふれあい、農業に対する理解を深める機会づくりに取り組みます。

関連する計画

粕屋町農業振興地域整備計画

SDGsからみた行動目標

働きがいも経済成長も

- 農業の生産性を高めることで持続可能な産業として活性化します。

陸の豊かさを守ろう

- 持続可能な農業の振興により、農地の保全を進めます。

4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興

■前期基本計画の主な取組と成果

商工業の活性化

- プレミアム付商品券の発行事業により地域における消費を喚起し、地域経済の活性化を図りました。
- 小規模事業者の自然災害への備え及び災害発生後の迅速な復旧を支援するため、商工会と連携し、事業継続力強化支援計画を策定しました。

新たな産業の振興

- 創業支援事業計画に基づき、創業・起業をめざす人のために創業塾を開催し、創業の支援を行いました。

■後期基本計画のまちづくりの課題と展望

課題1 地場産業の経営基盤の強化に向けた支援

- 社会経済情勢が大きく変化する中、町内の中小企業・小規模事業者の経営状況は厳しさを増しており、新たな地場産業の活性化に向けた経営支援・技術支援が必要です。
- 粕屋町の魅力を高め、町内外に発信する方策として、地域資源を活用した町のブランド品の開発とPR・販路拡大が求められています。

課題2 地域経済の発展に向けた企業立地促進、起業支援

- 町内の安定した雇用を維持・拡大するため、新たな企業立地の促進や起業の支援が必要です。



企業立地



創業塾



基本施策

商工会と連携し、地場産業の活性化を支援するとともに、町の強みを活かした企業立地を進めます。

目標指標

区分	指標	現状値(R1)	目標値(R7)
実感指標	地域の商工業が活性化していると思う町民の割合	22.8%	
客観指標	創業塾・創業セミナーの参加者数	28人/年	30人/年

基本施策の取組方針


◎商工業の活性化に向けて、商工会などの関係機関と連携を強化し、技術革新や事業承継が進むよう、各種支援制度を周知するなど中小企業・小規模企業者の支援に取り組みます。

重点 将来にわたり安定した自治体経営、新たな雇用の場の創出及び地域経済の活性化のため、町の充実した交通ネットワークなどの強みを活かし、企業立地に向けた取組を進めます。


重点 地域特産品の開発を進めるとともに、町の魅力を発信できるブランド製品として、ふるさと納税などへの活用により、情報発信を進めます。

関連する計画 創業支援事業計画

SDGsからみた行動目標



働きがいも経済成長も



産業と技術革新の基盤をつくろう

● 交通利便性など本町の強みを活かした企業立地を進め、町内の雇用の確保を図ります。

● 社会変化をとらえた地場産業の技術革新、新たな起業を支援します。